

可燃ごみ減量講座

第1部 ～ 紙・布編 ～

なぜ燃やせるごみを減らさないといけないの？

燃やせるごみを減らすことで

1. 地球にやさしい（温室効果ガスの削減ができる）
2. 処理費用や重油などの燃料使用量が減る
3. ごみ袋の節約ができる

などの良いことがたくさんあります。

袋井市では、市内の家庭から出る可燃ごみの量を令和12年度までに、基準値（H28～R2平均）から、30%減らす5330運動に取り組んでいます。

さらなる削減のため、もうひと工夫、ご協力をお願いします。

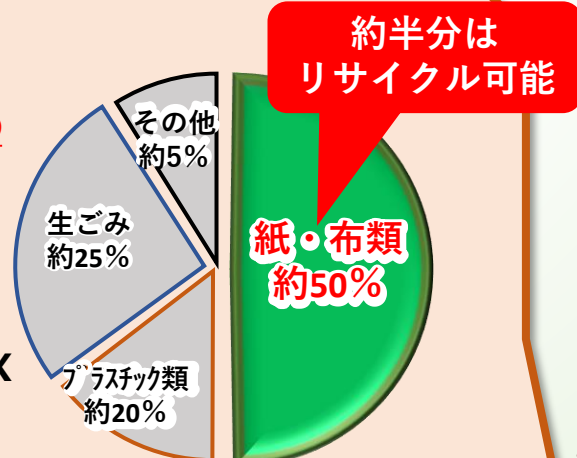


©袋井市

燃やせるごみを減らすにはどうしたらいいの？

市で収集している可燃ごみのうち、約50%は紙・布類で、このうち約半分は、菓子箱などの雑がみや、新聞・チラシなどのリサイクル可能な紙類です。リサイクル可能な紙と布は可燃ごみで出さず、月2回の雑がみ回収や民間の古紙回収BOXに出すようにしましょう。

裏面で、紙・布類のリサイクルの仕方について説明します。



燃やせるごみの内訳



リサイクルできる紙と布って？

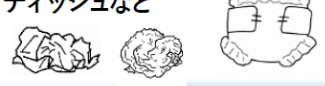
紙

紙類の約半分はリサイクル可能です。リサイクルできる紙類は、可能な限りリサイクルしましょう。

燃やすすかないごみは「汚れた紙」だけ

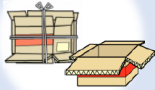
使用済みの
キッチンペーパー
ティッシュなど

紙おむつ

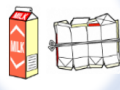


1. PTAなどの集団回収や近くの民間の回収BOXを利用しよう

段ボール



紙パック



新聞紙
チラシ



雑誌



市内の古紙BOXはこちら

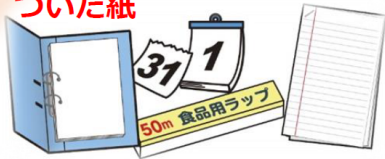


古紙回収BOXなどに出せない紙類もリサイクル

2. 古紙回収BOXなどに出せない紙類は月2回の雑がみ回収を利用しよう

汚れていなければ、クリップなどの金属やフィルムなどが付いていても全てリサイクルできます

金属やプラスチックなどが
ついた紙



シュレッダーにかけた紙



ビニールやセロハンなどが
ついた紙



アルミ加工紙・感熱紙



資源ごみ回収へ



「紙袋」で出したり、紙ひも等で縛って出したりするだけでなく、指定ごみ袋の臨時措置で使っている「透明ビニール袋」で出すことができます。



布

リサイクルできるもの

衣類全般
(汚れがないもの)

古布回収BOXを御利用ください

※場所によって回収できるものが異なりますので設置者に御確認ください。
※まだ着れる服や靴などは、古着屋やフリーマーケットで売ることができます。

リサイクルできないもの

汚れや臭いがついた衣類、布団等の寝具類、カーペット類など



次回はプラスチックの分別
についてお知らせします。

次回へ続く